

確定申告書の記載手順

- 「確定申告書」は、「申告書第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例1】(4~13ページ)に基づいて作成した「申告書第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」を示して、申告書の記載手順を説明します。
- 記載手順は、矢印と番号(①~⑦)で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、4ページから15ページをご覧ください。
 なお、「確定申告書」の作成に先立って、「山林所得収支内訳書(計算明細書)」(国税庁ホームページからダウンロードできます。)を作成します。

(手書きした部分は、便宜上、青色で表示しています。)

申告書第一表 令和05年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書

申告書第二表 令和05年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書

確定申告書には、マイナンバー(個人番号)を記入する必要があります。

納税地	〒XXXX-XXXX	現在住所又は居所	〒XXXX-XXXX
フリガナ	オオサカ タロウ	氏名	大阪 太郎
職業	会社員	世帯主の氏名	大阪太郎 本人
収入金額等	6700000	所得金額等	4930000
所得から差し引かれる金額	5840000	税金の計算	1160000

記載手順

- ① 「山林所得収支内訳書(計算明細書)」を作成します。(4~5、14~15ページ参照)
- ② 第一表の収入金額等と所得金額等の箇所を書きます。(6~7ページ参照)
- ③ 第二表を作成します。第二表は、②及び④の記載と併せて作成します。(第二表の記載例は、8ページを参照してください。)
- ④ 第一表の所得から差し引かれる金額の箇所を書きます。(9ページ参照)
- ⑤ 第三表の山林の収入金額や所得金額などの箇所を書きます。(10~11ページ参照)
- ⑥ 第三表の税金の計算の箇所を書きます。(12ページ参照)
- ⑦ 第一表の税金の計算、その他などの箇所を書きます。(13ページ参照)

申告書記載に当たって

記載に当たっては、次の点にご留意ください。

- 1 申告書等は、黒いインクのボールペンで書いてください(消せるボールペンは使用しないでください。)。なお、複写式となっている申告書は、2枚目(控用)を取り外して使用しても差し支えありません。
- 2 フリガナは、濁点「ㇿ」半濁点「ㇻ」は一字分とし、姓と名の間は一字空けてください。
- 3 マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。
 なお、1億円以上の金額がある場合には、右の記載例にならって書いてください。
- 4 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

【記載例】

縦線1本 隙間を空ける 上に突き抜ける 角を作る

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 閉じる

【記載例】 (金額が1,234,500,000円の場合)

1234500000

【記載例】

配当 ① 1230000

給与 ② 2300000

山林所得収支内訳書(計算明細書)

令和05年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書(分離課税用)

令和05年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書(分離課税用)

収入金額	25000000	所得金額	7820000
税金の計算	3770000	所得から差し引かれる金額	5840000